

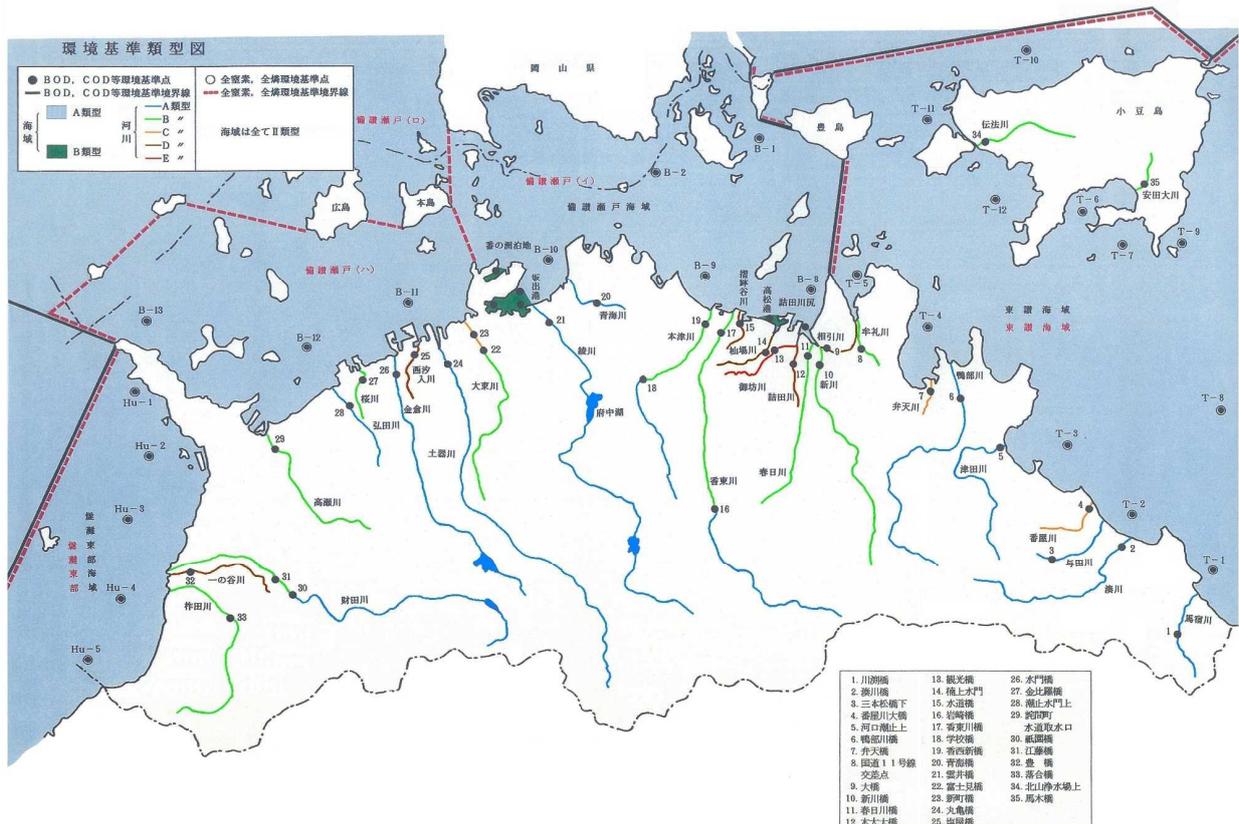
中央環境審議会水環境部会総量削減専門委員会



香川県における 取組みの現状

平成27年2月16日
香川県環境管理課

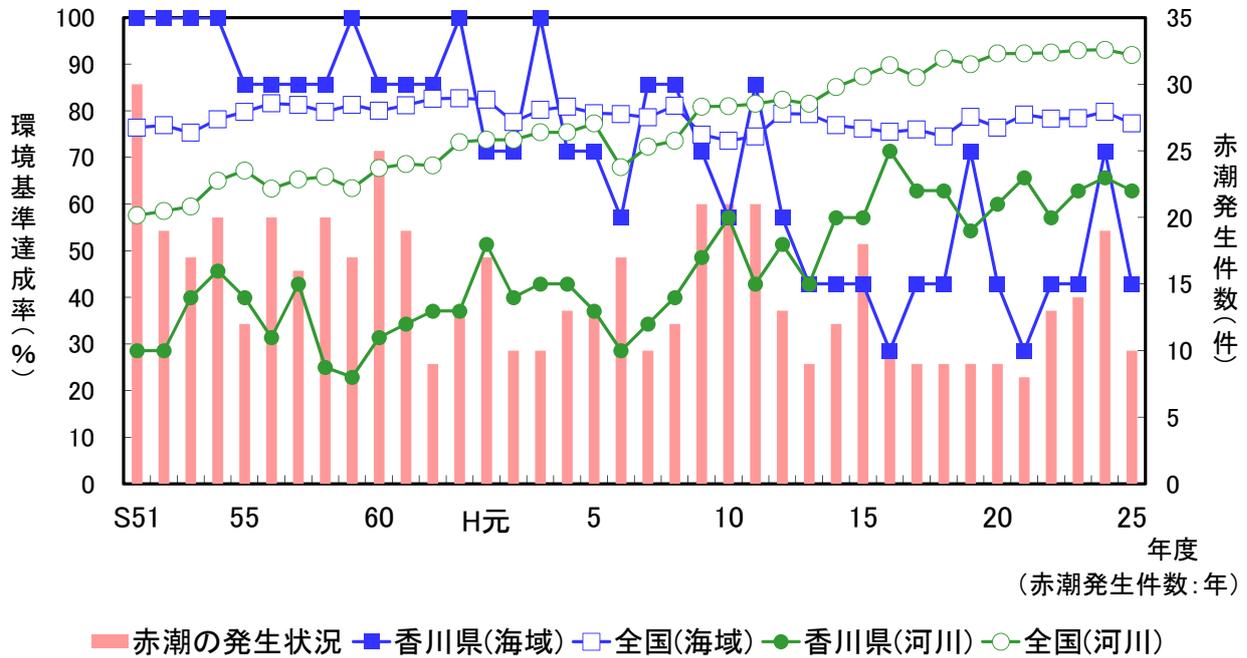
香川の水質汚濁の状況について



香川の水質汚濁の状況について

■ 公共用水域水質測定結果

【環境基準(BOD・COD)達成率と赤潮発生件数の経年変化】



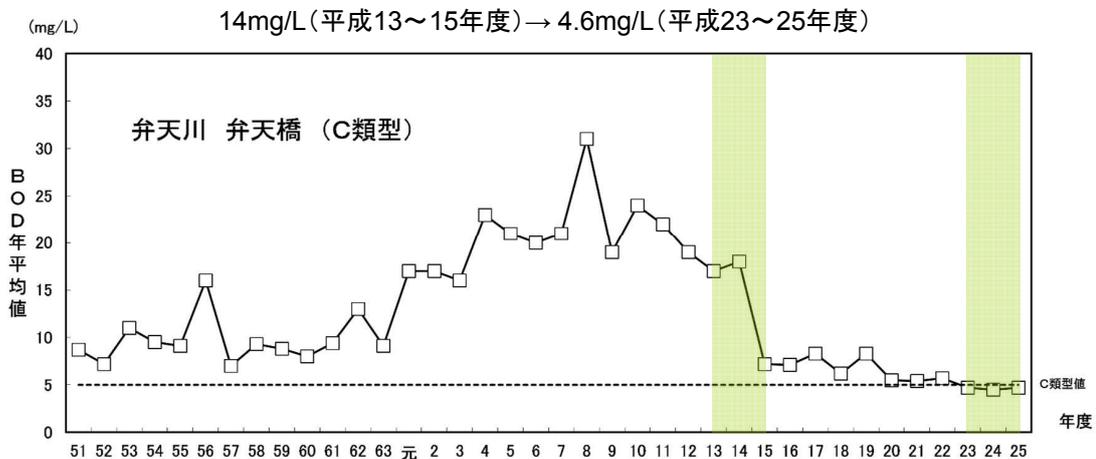
3

香川の水質汚濁の状況について

■ 公共用水域水質測定結果

○ 弁天川の水質の経年変化

濃度差からみた水質改善の上位河川 **全国4位**(平成25年度)



○ 水質浄化対策

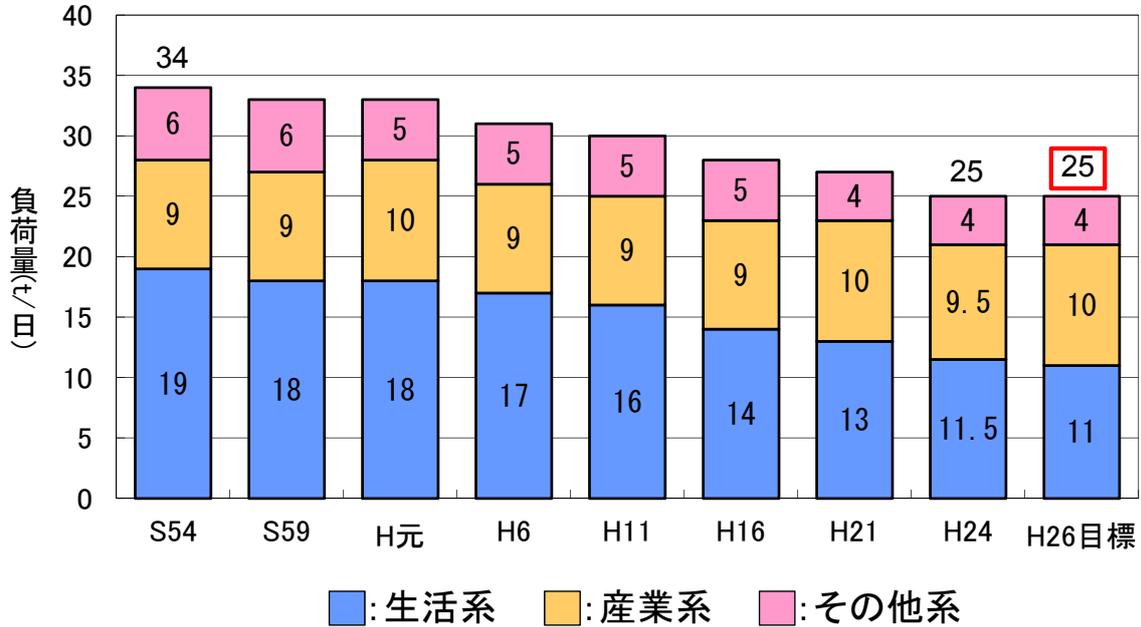
- ・ 弁天川水質浄化対策検討会(平成9年設立: 県、志度町)
- ・ 工場・事業場排水の監視・指導
- ・ 生活排水浄化実践活動
- ・ 公共下水道の整備
- ・ 礫による河川の直接浄化事業

4

水質総量規制の実施

化学的酸素要求量(COD)の発生源別汚濁負荷量の推移と削減目標量

香川県

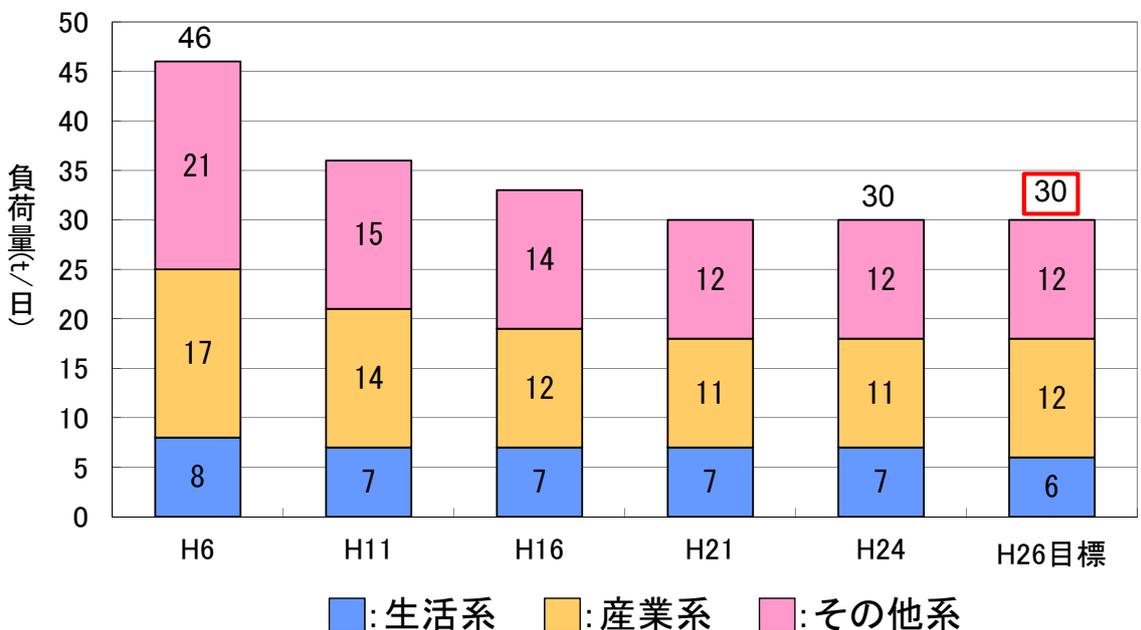


5

水質総量規制の実施

全窒素(T-N)の発生源別汚濁負荷量の推移と削減目標量

香川県

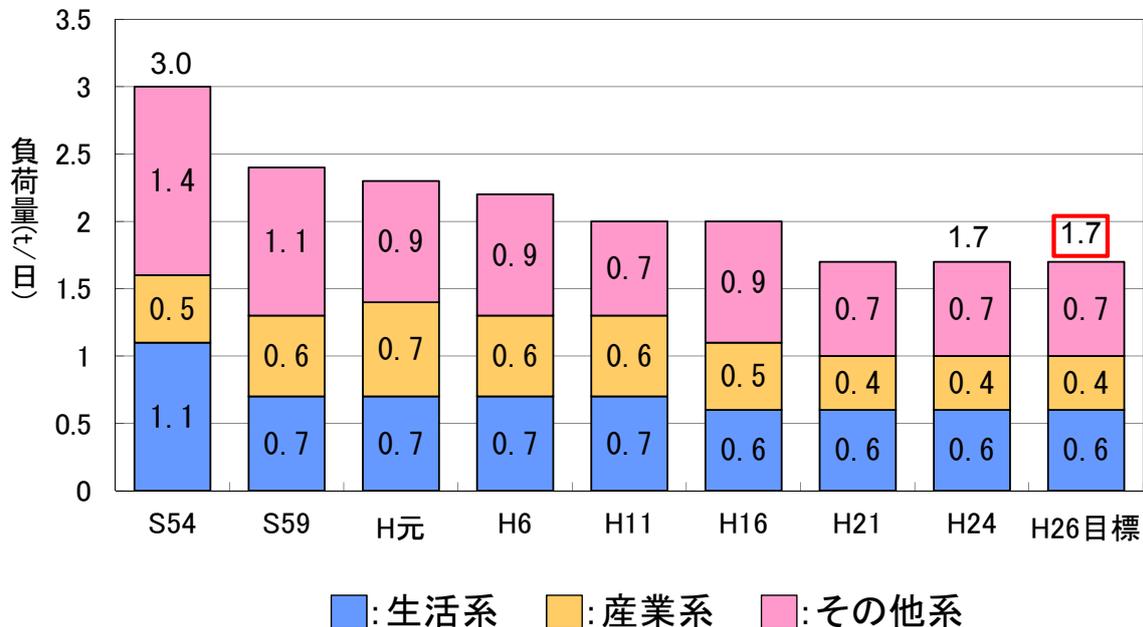


6

水質総量規制の実施

全りん(T-P)の発生源別汚濁負荷量の推移と削減目標量

香川県



香川県生活環境の保全に関する条例

香川県生活環境の保全に関する条例の概要

公害の防止等の規制	大気汚染対策	排出基準や施設の設置の届出など、ばい煙発生施設及び粉じん発生施設についての規制
	水質汚濁対策	水質汚濁防止法の上乗せ排水基準の設定及び、汚水等排出施設についての排水規制
	土壌及び地下水の汚染対策	特定有害物質の製造などを行う施設や、土壌汚染関係施設、油の貯蔵施設についての規制
	騒音対策	騒音規制地域の設定と騒音規制基準の設定、騒音発生施設や特定建設作業についての規制
	振動対策	振動規制地域の設定と振動規制基準の設定及び、振動発生施設についての規制
地球温暖化対策	化学物質管理対策	化学物質管理の方針などの公表・提出や、化学物質適正管理計画の作成・提出・公表
	地球温暖化対策	省エネルギーや温室効果ガスの排出抑制の取組みの励行、地球温暖化対策計画の作成や、家電販売店の省エネ性能説明推進員配置など
	自動車等の排出ガス対策	自動車の使用抑制やエコドライブなどの励行、駐車場でのアイドリングストップの周知、自動車排出ガス対策計画の作成や自動車販売業者の自動車環境情報説明推進員配置など
その他の規制	生活環境の静穏の保持	航空機商業宣伝の制限、夜間の拡声機使用の制限、飲食店などの深夜の騒音防止、自動車などの騒音防止
	屋外燃焼行為の制限	ゴム、皮革、合成樹脂などの屋外焼却の禁止
	投光器の使用の禁止など	サーチライトなど投光器の特定物照射以外の使用の禁止、屋外照明について周辺への配慮

香川県生活環境の保全に関する条例

①水質保全対策

対象工場又は事業場	排水量(m ³ /日)			
	平均50	最大50	平均10	0
①(水質汚濁防止法)特定施設 ②(瀬戸内海環境保全特別措置法)みなし指定地域特定施設 を設置する工場又は事業場	水質汚濁防止法による 規制※1		改正条例による規制 (H24.4.1~) 改正条例による 勧告※2	
③(現条例)非鉄金属製造業の用に供する鍍処 理施設を設置する工場又は事業場	条例による 規制			
④(改正条例)自動式鶏卵洗浄施設、生うどんの 湯煮施設、公衆浴場のちゅう房施設等を設置 する工場又は事業場				
上記以外				

※1…旅館業の事業場には、これまで適用除外となっていた条例の上乗せ排水基準が平成21年10月1日から適用されます。
(平成21年10月1日時点で設置されている事業場は、平成22年4月1日から適用されます。)

※2…規制対象以外の工場又は事業場についても、水質汚濁により生活環境に支障を及ぼしている場合は、
勧告できる制度となっています。



②地下水の保全・利用対策

③土壌及び地下水汚染対策

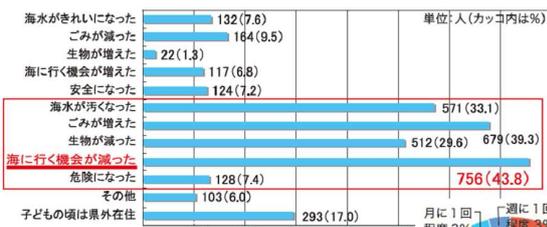
香川らしい里海づくりの推進

○香川の海が抱える課題

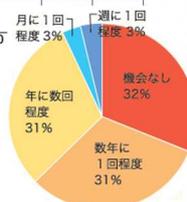
- ① 改善傾向が見られない「有機汚濁」
- ② 「栄養塩」の循環バランスの崩れ
- ③ 増加傾向にあるが、依然として少ない「藻場」
- ④ 対応が急がれる「海ごみ」問題
- ⑤ 「人と海の関わり」の希薄化
など



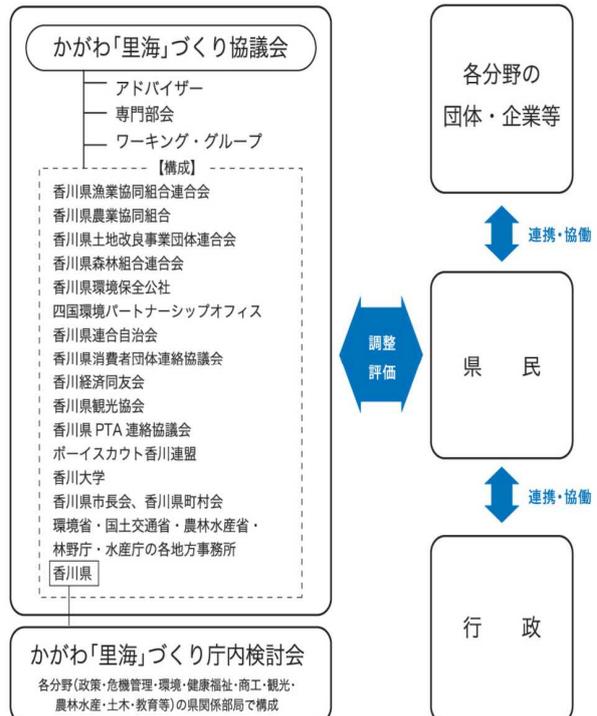
Q1. あなたが子どもの頃と比べて、香川の海はどうなつたと感じていますか？



Q2. あなたは海や海辺でのふれあいやレジャーの機会をどのくらい持っていますか？



○里海づくりの推進体制



かがわ「里海」づくりビジョン

「里海」を活かした新しい価値創造



11

ビジョンで示す6つのポイント別にみる取組状況 ～持続可能な取り組みを支える基盤整備を重点的に～

1. 推進体制の構築

- ワーキング・グループの設置・開催
- 協議会（年間3回程度）、勉強会（年間2回程度）の開催

2. 理念の共有・取り組みへの反映

- シンポジウムの開催
- 瀬戸内海の環境の保全に関する香川県計画の見直し

3. 意識の醸成

- マスメディア等を活用した広報

4. 人材育成

- 人材育成プログラムの開発
- 拠点フィールドづくり

5. ネットワーク化

- セミナー＆交流会の開催
- 個別マッチング

6. データに基づく順応的管理

- 参加型モニタリング手法の開発
- 基本モデルの構築

海ごみ対策推進事業

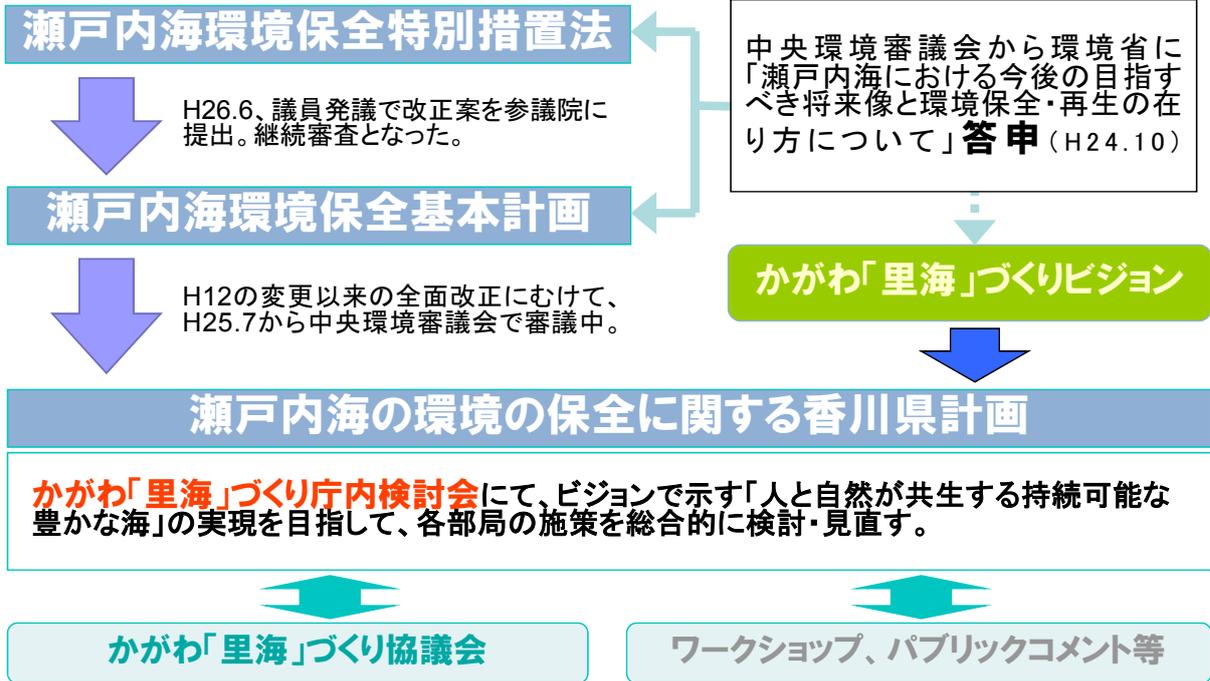
生活排水対策重点事業

里山再生・竹林資源活用推進事業

12

● 理念の共有・取り組みへの反映

瀬戸内海の環境の保全に関する香川県計画の見直し



● 意識の醸成

マスメディア等を活用した広報(主な取り組み紹介)

- ①瀬戸内海国立公園の環境保全活動パネル展 (80周年記念式典サイドイベント, H26.7.13)
- ②県ホームページ リニューアル (H26.7.14)



③松田アドバイザーに、水産系情報誌「アクアネット(2014.5)」で、かがわの里海づくりをご紹介いただきました。



● データに基づく順応的管理 基本モデルの構築



■ 里海循環WGにて、検討スタート。

「瀬戸内海の環境の保全に関する香川県計画」にも反映。



関連重点事業：海ごみ対策推進事業

かがわの里海づくり
陸域・海域一体となった取り組みへ

重要課題の
一つが海ごみ



漁業者が、底びき網漁等で
網にかかった海底ごみを
ボランティアで陸に持ち帰り
漁協等で保管



行政(沿岸市町と県)が
運搬・処理



行政(内陸部を含めた
全市町と県)が
処理費用を負担

平成25年度 内陸部の市町も構成メンバーに加え、共同事業体として協議会を再編
漁業者・市町・県による海底堆積ごみ回収・処理システム稼働

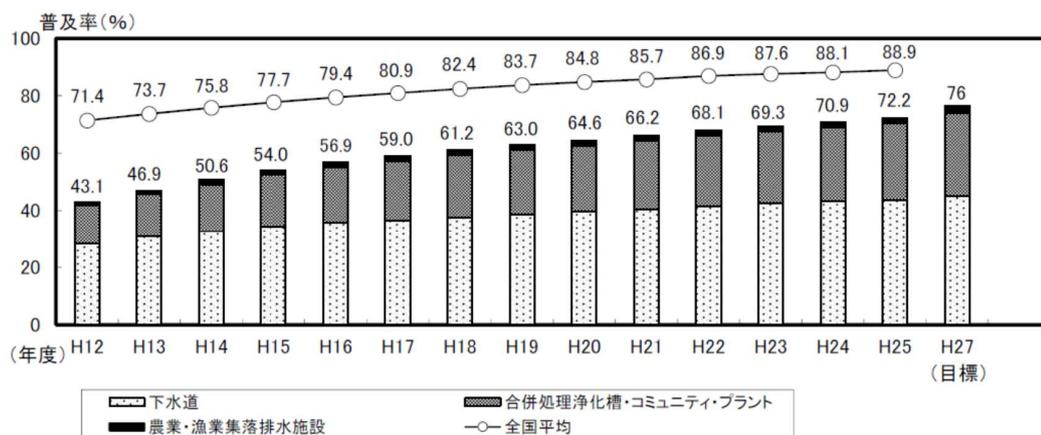
平成26年度 山・川・里(まち)・海の各地で海ごみ削減のためのクリーン作戦実施

(第1回県内一斉海ごみクリーン作戦:平成26年10月26日(日)~11月9日(日))



関連重点事業：生活排水対策重点事業

○汚水処理人口普及率の推移



○第4次全県域生活排水処理構想の策定(平成26～27年度)

下水道、農業・漁業集落排水施設、合併処理浄化槽等生活排水処理施設の効率的・計画的な整備を推進するための構想を策定する。(ふるさと香川の水環境をみんなで守り育てる条例(平成14年))

○浄化槽対策

- ・単独処理浄化槽等重点転換事業(敷地内配管費を補助)
- ・既存単独処理浄化槽撤去費補助
- ・浄化槽設置整備事業補助
- ・浄化槽法定検査受検率改善事業

17

関連重点事業：里山再生・竹林資源活用推進事業

○課題

里山林は、かつて、人との生活に密接に関わり、利用されてきたが、現在では、人と里山の結びつきが希薄となり、放置された広葉樹林や竹林が拡大し、里山林の持つ公益的機能が低下している。

○内容

里山の再生を図るため、地域住民や企業等が一体となった体制の下、里山の整備・保全から竹林資源をはじめとする里山資源の利活用までの総合的な取組みを進める。

(1) 里山再生推進事業

- ・里山再生推進協議会及び里山再生・竹林資源活用推進検討会
- ・里山再生モデル地区の設定(綾川町羽床上地区等)
- ・クヌギ等の広葉樹によるモデル林の整備

(2) 竹林資源活用推進事業

- ・森林組合等による竹林資源の供給体制づくり
- ・竹林拡大防止対策の調査研究

(3) 木質バイオマス利用促進事業

- ・広葉樹の整備で発生する材を燃料とする実証を行う。



香川の森林土木・森林整備
イメージキャラクター りんちゃん

18

人と自然が共生する持続可能な豊かな海

